



令和8年4月開校の統合校名(案)に「市島小学校」が選ばれました

12月11日、統合準備委員会地域部会が開催され、みだしのことが決定いたしました。応募件数332件、候補校名は145件。応募された「作品名」と「校名に込められた想いや意味」はすべて、一覧にまとめられ、委員に配られました。委員はそれらを熟読し、選考に臨みました。

「市島」は48件の応募があり最も多い作品でした。その他、ひらがな表記「いちじま」も含めて「市島」を使用した作品の総数は、88件ありましたので、結果として、応募件数の多かった校名が選ばれたこととなりました。「市島」の他にも、応募された校名には、様々な想いや意味が込められており、皆さまの想いが伝わってくる選考会でした。(今後、定例教育委員会において承認された後、市議会に報告、学校設置条例の改正が議決され正式に校名決定とされます。)

今後も開校に向けての準備が進められていきますが、吉見・鴨庄・三和地区の方々の関心やご支援が、子どもたちや小学校・こども園にも向き、小学校統合が市島地域の子どもたちの育成につながりますよう、今後共、ご協力の程よろしく願いいたします。

「自律・共感・協働」の姿が、増えてきた吉見っ子！」高学年編

11月号に引き続き、学校教育目標「自律・共感・協働」の観点で、4.5.6年生の成長を紹介します。

4年生は、「早く座ろかー」「今、話聞く時やで」などと、児童同士で声掛けして軌道修正できるようになってきたことが大きな成長です。また、図



工等では、唯一無二の作品が多く、他人

の真似をせず、自分で考えていることがわかります。特に「しんかタイム」と言って、意見や答えを何人かの友人と交換し、赤字で自分の意見に加えていく学習スタイルがよく浸透し、国語、道徳、算数、社会などで深い学びにつながっています。

5年生は金管練習が6年生



から独立してから、昼練習の計画を自分たちで立て、3曲の練習配分をコントロールしています。学級会では「会社」をいくつか作り、ゼロから作りあげる企画力・実行力を身に付けているところです。

授業では、課題のまとめ方でパソコンを使うか紙のノートを使うかといった選択で、自分に合った学習方法を選んで進めています。自分で決めるということが、主体的に学ぶことにつながっています。

6年生は、毎日の金管練習で、準備から練習、片付けまで

自立できています。他にも調理実習や作業で、最初に諸注意や説明をしてもらったら、メンバーで均等に仕事を割り振ってできていることなどは、金管活動の賜物です。

また、先日訪れた人権学習水平社博物館(奈良)では、自らメモを取って記憶に留めようとしていました。

現在「卒業時には、どのような学級になっていたいか」自分達の学校生活を振り返っているところです。その後「プロジェクト卒業」の企画が始まります。(文責：学校長)

校内音楽会

11月18日、校内音楽会を開催しました。全校児童の一人一人が頑張っている姿を認め合い、共感し合いました。



下学年の児童が、6年生に更に憧れを持ち、あんな風になりたいと思いました。



神池の学習

4年生が神池の学習に行きました。事前に自分たちでも調べていましたが、現地へ行くことでそのスケールの大きさを



実感することができました。ゲストティーチャーの方に解説していただき、吉見伝左衛門さんの偉業を肌で感じることができました。

1月行事予定

	月	火	水	木	金	土	日
下校時刻	14:50 全学年	1・2年 14:50 3～6年 15:40	14:50 全学年	1・2年 14:50 3～6年 15:40	1～3年 14:50 4～6年 15:40		
	①元日 閉庁日	②閉庁日	③閉庁日	④	⑤	⑥	⑦
	⑧成人の日	⑨あいさつ運動 登校指導 始業式 11:30 下校	⑩給食開始 身体測定	⑪委員会活動	⑫読み聞かせ	⑬	⑭
	⑮	⑯	⑰メモリアルデー とんど	⑱登校練習	⑲	⑳	㉑
	㉒	㉓	㉔オープン参観日 命の参観日	㉕地区児童会	㉖	㉗	㉘
	㉙	㉚市島中入学説明会	㉛				
	2月の主な予定 9日(金) 吉見小入学説明会 15日(木) 教育相談 22日(木) ラストコンサート						

マラソンフェスタ 2023

自分でコースを選び、目標を決めて、楽しむ、吉見小マラソンフェスタ2023を開催しました。開会式でマイクを向けられた6年生児童は「目標は、途中で歩かないで、マイペースで走り切ることです」と答えました。4年生児童は「8分20秒より速く走ることで、8分20秒は去年のタイムだから、それより早く走りたいです」と答えました。



キッズコース、チャレンジコースでは、タイムを狙って、自分の限界に挑戦しました。走っていない応援児童は、場所を移しかえながら応援しました。その声援が、どの子にも向けられ、後になるほど、温かい声援と拍手に変わりました。

エンジョイレースは、「ちーたん」が「3頭のティラノザウルス」を連れて、登場しました。歓声で大賑わいの中、チャレンジコースの33名の児童と一般参加の教員や保護者の方がスタートしました。出場者が全員完走！楽しいマラソンフェスタ！来年もマラソンを楽しみにしてほしいと思います。

